

科目名	基礎作業学【作業】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	青 山 真 美						
開講年次	1	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	必 修（作業）
授業の概要 及びねらい	「作業」は作業療法の中核にあります。作業療法士には多様な障害や価値観を持つ対象者が目指す、作業療法目標の達成を可能にする「作業」を選択し実施する知識と技術が不可欠です（作業の適用）。本講義では、作業療法で用いる「作業」とは何かを教授し、「作業」の初歩的分析を体験し、なぜ「作業」が治療となり得るのかについて概説します。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 作業療法における作業（occupation）について説明できる。 2) 「作業の意味」について説明できる。 3) 基本的な作業分析を体験し、どのような心身機能を使っているかを考えることができる。 4) 作業療法における「作業適用」について説明できる。						
学習方法	講義、演習、ディスカッション、ビデオ視聴						
テキスト及 び参考書等	教科書：山根寛著 ひとと作業・作業活動 第2版 三輪書店						
評価基準・方法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	○				80	
小テスト等							
宿題・授業外レポート		○	◎	○		20	
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	オリエンテーション、作業療法と作業						
第 2 週	作業の定義 作業の種類 作業の意味						
第 3 週	ライフサイクルと作業						
第 4 週	道具としての作業						
第 5 週	作業の力（環境・人・作業、作業と機能の関係）						
第 6 週	作業分析とは（食事における工程分析）						
第 7 週	限局的分析 1（食事における上肢動作分析①）						
第 8 週	限局的分析 2（食事における上肢動作分析②）						
第 9 週	上肢機能と作業						
第 10 週	包括的分析 C：ちぎり絵によるカレンダー作成 1						
第 11 週	包括的分析 C：ちぎり絵によるカレンダー作成 2						
第 12 週	作業分析まとめ						
第 13 週	作業の治癒的適応 1：症例をとおして						
第 14 週	作業の治癒的適応 2：作業療法における作業適用						
第 15 週	まとめ						
第 16 週	試験						
備 考	教科書の該当ページを予習し、授業ポイントを復習しておくこと。						